

自閉・情緒学級における授業づくり検討会

団体概要

子どもたちの総人口が減っている中、発達障害のある子どもたちは年々増え続けています。このような社会情勢の中、通常学級の数は今後減ることが見込まれていますが、特別支援学校や特別支援学級・通級指導(特別支援教室)の数は増えることが確実だと言われていています。文部科学省の資料によると、自閉症・情緒障害学級数が顕著に増えてはいるが、人材育成に課題があると掲載されていました。本団体では埼玉県での自閉情緒学級の取り組みを、教職員研修や保護者・地域の方向けの講演会や相談会等を通してお伝えをすることを通して都内公立学校をはじめ、保護者や地域の方への支援をすることを目的としています。

活動内容・活動状況

《代表について》

奥山 俊志哉(Okuyama Toshiya)

・埼玉県公立小学校教諭11年目(令和6年現在) 特別支援教育主任、就学支援委員会委員

・通常学級5年、自閉・情緒学級6年

・『みんなの教育技術』はじめに子どもありきの特別支援学級 連載中

・『実践みんなの特別支援教育』どの子も安心して取り組める授業づくり 掲載

・研究論文(査読論文)「主体的な学びや思考を促す特別支援学級国語科の授業」

・「非営利活動任意団体空に架かる橋 I」(ブログ更新、教材展示会開催、書籍出版決定)

【伴走者募集中】

*本団体は、令和6年9月に設立した新しい団体です。本団体を応援して下さる方や、一緒に特別支援教育を盛り上げて下さる方を随時募集しています。(自閉情緒に限らず、特別支援教育に興味がある幅広い人材を募集しています。)本団体に少しでも興味がありましたら、代表:奥山俊志哉までご連絡下さい。どうぞよろしくお願いいたします。

対応可能時期

平日夜、土曜、日曜、長期休業期間

必要経費

無料

支援対象

特別支援学校/その他:相談会、講演会など

会場・定員・必要備品等

ご相談させていただきます。

■活動理念(コンセプト)

「はじめに子どもありき」の特別支援教育を推進する。

*子どもたちは、子どもたちなりに一生懸命「今」という時間を生きています。そのような子どもたちに、社会の常識や枠、我々の感覚にとらわれることなく、ありのままの姿を見つめ、認め、伸ばしていくことができれば…という思いで、日々過ごしています。似た言葉に「子どもまんなか」という言葉があります。ぜひ子どもを中心に据えて、メンバーの皆さんでこれからの未来を担う子どもたちのことについて考えたり、話をしたりができればと思います。

■活動計画

1.講演会・相談会(zoom、会場) 2.メンバー同士での勉強会・食事会 3.広報活動(SNS、イベント参加)

*詳細については、本団体メンバーと話し合いを行った末、決定いたします。

担当者より一言

私自身の経験が、皆様の参考になればと思います。また、特別支援教育について、皆様と共に学習ができればと思います。常に新しい知識をアップデートしていきながら、子どもたちと関わっていければと考えています。